

令和元年度農業後継者育成基金事業

事業主体名 鹿児島県立農業大学校農学部果樹科

1 目的

現在の本県かんきつ産業が抱える課題を取り上げ、新たな視点からのアプローチで打開するために、実際に現地で取り組まれている調査活動や農場での実際の実証活動への取組から解決に結びつく技術の発掘・再構築を図る。併せて、これらの一連の活動を通じて、将来の本県果樹産業を担う候補人材の育成に寄与する。

2 実施状況

(1) 情報調査活動の実施

校外学習で県内のかんきつの代表的な産地（出水・南薩）での事例調査を行うとともに、かんきつ担当学生を一般の農業者の参加する県外の現地見学会に派遣し、生産現場で取り組まれている最新情報の収集に努めた。これらの活動で得られた技術内容を農場でのプロジェクト実証活動に反映

【査】

させ、さらには学生の資質向上に役立てた。

- 校外学習 [出水地域：しらぬひ・甘夏]
- 校外学習 [南薩地域：たんかん・きんかん]
- かんきつ技術改善学習見学会
[出水・熊本・長崎：しらぬひ・早生温州]

(2) 実証活動の実施

本科のかんきつ品目の各ほ場における課題を含めた本県かんきつ共通的な課題の解決につながるテーマをそれぞれ設定し、『生産力強化』『環境への変化対応』『省力・低コスト化』の観点から改善に向けたプロジェクト活動を展開した。

- 施設温州の収益性・作業性向上への取組
(樹形改造, 徒長枝群の効果的活用)
- 露地温州の収益性向上への取組
(予備枝・マルチ資材による日焼け果軽減)
- 大将季の樹上熟成による商材開発への取組
(高糖度果生産, 施肥体系改善での樹勢維持)
- ぼんかんの収益性・作業性向上への取組
(夏秋梢の取扱方法の柔軟な対応)

3 今後の課題、取り組み

実績の最終まとめ及び継続的な検証



【校外学習での出水市の事例調



【熊本県での現地見学研修会】



【農場（ぼんかん）での実証活動】